

## 第2章 めざすべき環境の姿

### 1 環境像

市民、事業者、市のパートナーシップによる取組みを進め、本市がめざすべき環境の姿（環境像）は、次のとおりです。

**みろくの森から道風の里まで  
蛙の合唱消えぬ道  
暮らしと出会いを大切にすまち**

#### 【解 説】

##### ■ みろくの森から道風の里まで

みろくの森は、市東部の自然豊かな丘陵地を示しています。また、道風の里は、本市が書で有名な小野道風生誕の地として伝承されていたことから、道風の生まれ育ったであろう里を示しています。さらに、東部から西部の市街地まで、豊かな緑でつながり意味も含めています。

##### ■ 蛙の合唱消えぬ道

本市が農村地域であったころには、どこでも耳にした蛙の合唱を、古き良き環境のイメージとして表わしています。また、道とは、東部の豊かな自然と市街地の歴史や文化が交わるイメージを示しており、歴史・文化、かつての農村風景など失われつつあるものを大切にする意味がこめられています。

##### ■ 暮らしと出会いを大切にすまち

暮らしは、廃棄物や資源の問題を考える上で重要なキーワードです。暮らしのありようから暮らしを振り返り、環境の大切さに気づき、暮らしの中でより良い環境にしていくために努力することを意味します。出会いとは、環境への配慮を大切にする市民がつどい、より大きなネットワークを形成していくための交流を意味します。暮らしと出会いを大切にして、環境まちづくりを進めていく意味がこめられています。

環境像を実現していくための「市民、事業者、市の環境への誓い」を次のように定めています。

##### ■ 環境への誓い

- 私たちは、地球市民としての自覚を持ちまちづくりに参加します。
- 私たちは、身近な自然環境を守り郷土の歴史と文化を大切にします。
- 私たちは、持続可能な社会をめざすまち春日井を次の世代に引き継ぎます。

※ この環境への誓いは、平成13年9月28日の環境都市宣言にも掲げられています。

## 2 環境目標

環境像を実現していくため、次の4つの環境目標（分野ごとの目標）を掲げています。

- 1 住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井（都市・社会基盤）
- 2 豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井（自然・風土）
- 3 美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井  
（くらし・低炭素・資源循環社会）
- 4 ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井（学習・ネットワーク）

### 【解説】

本市は、土地区画整理事業等によって都市基盤整備が進められ、住宅都市としての性格を持っています。しかし、これまでの市街化に伴い農地や森林が減少してきたことから、環境に配慮した都市づくりを進めることと自然や伝統を守り伝えることが、地域の環境をより良いものにしていくための基本となります。そのため、「住みたい、楽しく美しい、歩きたくなるまち・春日井（都市・社会基盤）」と「豊かな自然と人が共存し、歴史・文化を育むまち・春日井（自然・風土）」を環境目標としています。

市民、事業者が暮らしや事業活動の中で循環に配慮することは、地域の環境だけでなく、地球環境を保全する取組みにつながります。そのため、「美しい地球を守る、地域のしくみがいきづくまち・春日井（くらし・低炭素・資源循環社会）」を環境目標としています。

環境学習と人と人のネットワークを充実することが、環境市民を育成するとともに、地域の環境をより良くし、自然を大切にする意識を育むことにつながります。そのため、「ネットワークを活用し、環境市民が育つまち・春日井（学習・ネットワーク）」を環境目標としています。

